

# 親子聖書日課

NO.1960 2026.4/19-25

名前

[日]災いは、罪の結果だという因果応報論がありますが、主は「神の業(栄光)がこの人に現れるため」と、災いは神の恵みだと言われました。主を信じる時、災いも感謝できます。主に心の目を開いて頂き、神の栄光を現す生涯を送りましょう。

[月]伝道は難しいことではありません。聖書をよく知らなくても、「ただ一つ(自分が主に救われたこと)を知っていれば」よいのです。事実を証しするほど、説得力のある伝道はありません。大胆に証しするなら、救われる人が起こされるでしょう。

[火]「そのぐらいのことは知っている」という人は、ファリサイ派の人と変わりません。「知っているつもり」になっただけで、何が正しいことかわかっていないのです。「見える」と言い張る罪は大きい。無知を認めて、主に従うなら、真理が見えます。

[水]私達は羊に似ています。よく道に迷い、群れたがり、一人では生きていけないのです。羊飼いなる主が必要です。主は自分の命を捨てて、私達に永遠の命を与えて下さいました。大牧者である主の声に聴き従うなら、豊かに養われます。

[木]主を信じてからも色々な声が聞こえてきます。その中には、とても耳触りのよい悪魔の声もあります。どれが主の声なのか、聞き分けましょう。そのためには、絶えず御言葉に触れることです。本物に触れていると、偽物にだまされません。

[金]主を信じるとは、ただ主の復活を信じるだけではありません。自分の死後、その復活の命に与り永遠に生きることを信じることです。これは理屈の世界ではありません。マルタのように「私は信じております」と告白することが大切です。



[土]「もう今からでは手遅れだ」と諦めてはいけません。主にとって不可能なことはありません。死後4日たったラザロを復活させました。「もし信じるなら、神の栄光が見られる」家族の救いも信じて祈るなら、救いの日は、必ず、来ることでしょう。

	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 9:1-12	生まれつき目が見えないのは、何がこの人に現れるためでしたか。	
月	9:13-34	ただ一つ知っているのは、どんなことですか。	
火	9:35-41	今、何とあなたたちは言っているから、あなたたちの罪は残りますか。	
水	10:1-21	羊のために命を捨てるのは、誰ですか。	
木	10:22-42	主の羊は、主の声をどうしますか。	
金	11:1-27	主を信じる者は、死んでもどうなりますか。	
土	11:28-44	もし信じるなら、何が見られますか。	
感想と祈りの課題			